

結城信用金庫の環境への取組みについて

自然環境の維持および改善に努めることは、企業市民としての社会的責任であり、環境への負荷の軽減に努力することは資源を消費する企業としての責務であります。当金庫はさまざまな環境保全活動に積極的に取り組んでいます。

【環境自主行動の実施】

地球温暖化対策について、当金庫は、平成23年度より電気使用量前年比マイナスを目標として、本部及び営業店で取組み、平成29年度は取組み以前の年度（平成22年度）に比べ、23.53%の削減に成功しました。

営業店と本部それぞれで節電取組チェック表を作成し、照明を必要最低限に抑えたり、毎日、帰店前に使用した機器のコンセントを抜くなど、節電取組の各項目を職員一人ひとりが交代で点検しチェックすることで節電に対し積極的に取り組んでおります。

【茨城エコ事業所としての取組み】

茨城県では、地球環境に配慮した取組みを積極的に実践している事業所を「茨城エコ事業所」として認定しており、当金庫は最高位“AAA-L”に登録されています。

地球温暖化や廃棄物の増加など、深刻な環境問題の解決のため、事業所による環境負荷を低減する取組みが不可欠となっています。

また、茨城県では「いばらきエコチャレンジWeb」を立ち上げ、家庭での省エネを推奨していることから、当金庫役職員に対しても積極的な参加を呼び掛けております。

1. ノーマイカーデーへの取組み

通勤時のマイカー利用を自粛し、公共交通の重要性や過度のマイカー利用による地球温暖化などの問題について考える取組みとしてノーマイカーデーを実施しております。

2. 環境対策への取組み

• 節電

営業室、業務室の天井照明を一部消灯したり、冷暖房の適度な温度設定などを行うことで、電気使用量が前年度と比べ増加しないようにしております。

• 燃料費削減

渉外活動において、一日の活動にロスがない計画を立て、無駄な燃料を使わないようにしております。

• コピー用紙の削減

コピー1枚にいくら経費が掛かるかをコピー機のスタートボタンのところに貼ることで職員への意識付けを図り、用紙削減に取り組んでおります。

3. クールビズ、ウォームビズの実施

5月から10月は上着なし、ノーネクタイ、冷房の設定温度を27℃（本部28℃）としてクールビズを実施、12月から3月は上着着用、暖房の設定温度を20℃としてウォームビズを実施しております。（営業店においては、お客様が不快を感じない温度設定とするように留意しております。）

【結城市より「環境美化パートナーシップ事業団体」受賞】

結城市市制施行60周年記念事業の協働のまちづくり講演会において、当金庫が全店でやっているボランティア清掃活動が評価され、環境美化パートナーシップ事業合意団体として表彰されました。当金庫は、各部店それぞれ店舗周辺を、月に1度就業前に職員全員で清掃活動を行っております。



【エコキャップ回収活動】

活動目的は、ペットボトルのキャップを外すことにより、ペットボトル本体の再資源化率を高め、その結果、焼却処分される量を減らし、CO₂の削減に寄与します。ペットボトルのキャップをリサイクルメーカーに売却し、その売却益をワクチン寄贈団体へ寄付することで、途上国の子供たちにワクチンが届けられます。

当金庫では、全営業店にペットボトルキャップの回収容器を設置し、ペットボトルキャップの回収活動を実施しており、これまで、多くのお客様にご協力をいただいております。

【環境に配慮したエコ店舗】

平成24年3月に移転オープンした関城支店、平成24年9月に新規オープンした小山城南支店、平成29年12月に新築オープンした三和支店には屋根にソーラーパネルを設置し太陽光発電を行い、店舗内にLED照明を多数使用するなど、環境にやさしい店舗となっています。

【環境に配慮した融資商品】

・太陽光発電事業融資

太陽光発電事業に係る設備資金融資に積極的に取り組み、国が進めるクリーンエネルギーの推進施策を側面から支援することを目的とした融資商品であります。

- エコカープラン
ハイブリット車・電気自動車・天然ガス自動車若しくはエコカー減税対象車の購入を資金用途とし、低金利で利用して頂く商品であります。
- 住宅ローン
環境に配慮した機器（エコキュート、IHクッキングヒーターなど）を設置した住宅を新築または購入する場合、店頭金利よりマイナス金利を適用させる項目を加えております。

詳しくは当金庫ホームページをご覧ください。

<http://www.shinkin.co.jp/yuki/>